

自然環境を守り、安心して暮らせる社会を創る

北陽建設株式会社

Hokuyo construction Co., Ltd



®環境省

エコアクション21

認証番号0007075

環境経営レポート

From 2021/06/01 *to* 2022/05/31

Issue Date 2022/09/09



目 次

環境活動の対象組織・活動範囲	• • •	1
環 境 方 針	• • •	3
環境目標《中長期目標》・環境活動計画	• • •	4
環境目標に対する実績	• • •	5
環境活動計画の取組結果とその評価	• • •	6
次年度の取組内容	• • •	10
環境活動の紹介	• • •	11
環境関連法規制等の遵守状況	• • •	13
代表者による全体評価と見直しの結果	• • •	15

環境活動の対象組織・活動範囲

組織の概要

1.法人名及び代表者 法人名：北陽建設株式会社
代表者：代表取締役 原 滋俊

2.所在地

<EA21対象範囲事業所>

《本社》

『本店』 〒398-0003 長野県大田市社5377
〔TEL〕 0261-22-1155 〔FAX〕 0261-22-9562
〔mail〕 info@hokuyo-net.co.jp
〔URL〕 http://www.hokuyo-net.co.jp

《営業所》

『長野営業所』 〒380-0912 長野県長野市稲葉1993-1
『佐久営業所』 〒384-0301 長野県佐久市臼田623-1
『飯田営業所』 〒395-0803 長野県飯田市鼎下山491-3
『木曾営業所』 〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島2822-1
『伊那営業所』 〒396-0012 長野県伊那市上新田2367-1
『岐阜営業所』 〒509-7201 岐阜県恵那市大井町2627-1
『浜松営業所』 〒434-0026 静岡県浜松市浜北区東美園92
『静岡営業所』 〒425-0091 静岡県焼津市八楠1-26-2
『大町機材センター』 〒398-0003 長野県大田市社4682
『飯田機材センター』 〒395-0823 長野県飯田市松尾明7924-1

<EA21対象外事業所> 非常勤の為、事業活動に伴う環境負荷無し

『松本営業所』 〒390-0872 長野県松本市北深志2-1-18

3.環境管理責任者及び担当者

【環境管理責任者】 代表取締役 原 滋俊 〔mail〕 s.hara@hokuyo-net.co.jp

【事務局】 担当者 松宗 直人 〔mail〕 n.matsumune@hokuyo-net.co.jp

4.事業内容

【設 立】 1974年3月 【資 本 金】 8,000万円

【建 設 業】 国土交通大臣許可（特・般-2）第18572号
『特定建設業』 土木、とび・土工、石、ほ装、造園、水道施設
『一般建設業』 管、さく井

【測 量 業】 登録番号 登録第(9)-12874号

【地質調査業】 登録番号 質30第930号

【建設以外の業】 登録番号 建31第4688号

登録部門 河川、砂防及び海岸・海洋、道路、農業土木、
森林土木、地質、土質及び基礎、建設環境

5.事業の規模

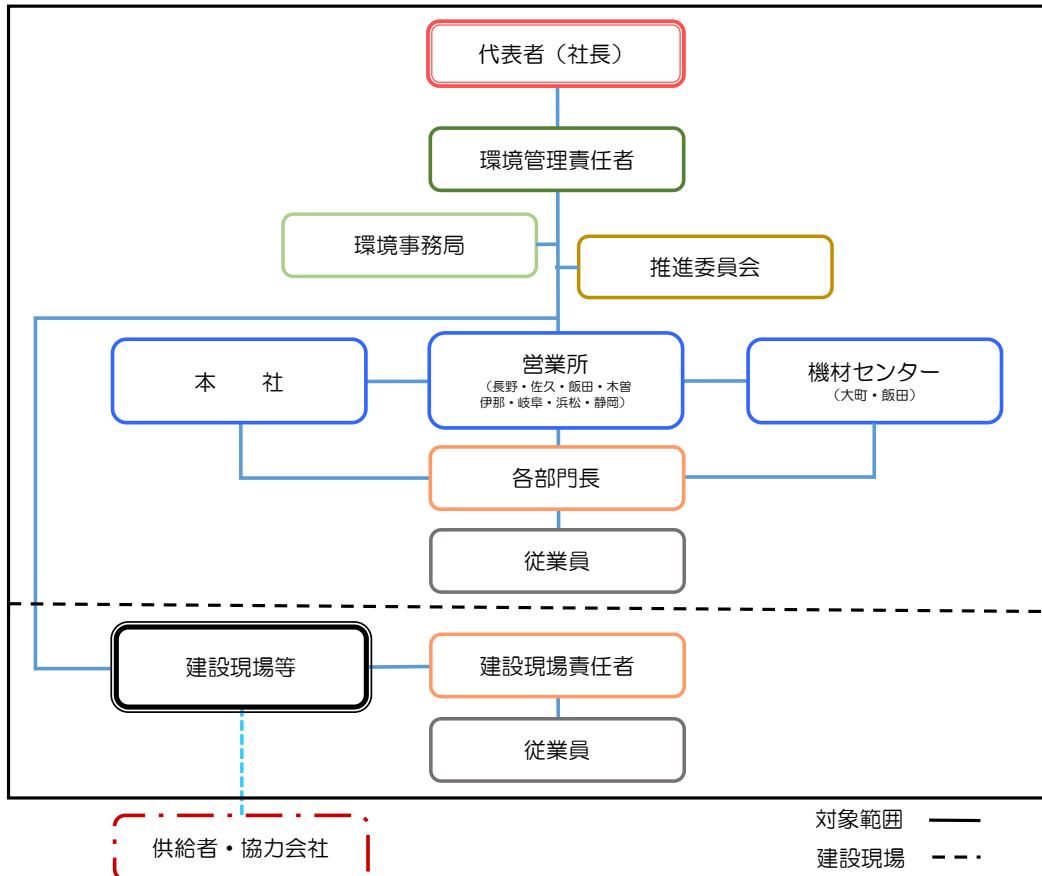
【完成工事高】 93億6100万円 (2021/06/01 ~ 2022/05/31)

【従業員数】 193名

6.事業施設

区分	施設名	就労数	床面積 (㎡)	施設名	就労数	床面積 (㎡)
EA21 対象範囲 事業所	本社	93	1,968.83	静岡営業所	7	253.91
	長野営業所	17	297.26	大町機材センター	9	129.42
	佐久営業所	5	282.36	飯田機材センター	2	54.61
	飯田営業所	32	458.46	大町機材センター	倉庫	3,065.06
	木曾営業所	6	128.66	飯田機材センター		540.00
	伊那営業所	7	416.15	大町機材センター	資機材置場	3,785.85
	岐阜営業所	9	185.00	飯田機材センター		1,279.79
	浜松営業所	6	196.65			
EA21 対象外 事業所	松本営業所(非常勤)	他社事務所の一部を賃貸				

7.認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）



環境方針

基本理念

北陽建設株式会社は、長野県を中心に、フォッサマグナとともに厳しい自然環境という複雑な地質構造で磨いた高い技術力を活かし、環境に配慮した設計・施工の普及に努力する。

《豊かな自然環境》《地域社会》と事業活動の隆盛を併立させ、事業活動が地球環境に配慮したかたちで、環境負荷を可能な限り低減させる。継続的改善に努め、エコアクション21環境経営システムを運用し、常に環境への取組を考え、自主的・積極的に行い、持続可能な循環型社会を実現する活動を全社員で取組んでまいります。

基本方針

基本理念に基づき、以下の事項について取組んでいきます。

1. 環境に配慮した設計・施工の実践

各部門において環境配慮取組み目標3件以上。

2. 省資源・省エネルギーへの取組

建設資材の省資源および環境配慮機能を携えた資機材の利用、水資源の節水、コピー用紙の削減、グリーン購入

3. 廃棄物の削減・リサイクルの推進

事業活動で生じる廃棄物の3R『削減、再使用、再利用』に努める。

4. 二酸化炭素（CO₂）削減の取組

電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

5. 環境関連法規の順守

事業活動を行う上で当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を明らかにし、またその他要求事項を遵守する。

6. 環境啓発活動の推進

環境保全に関する啓蒙・啓発活動を実施するとともに、地域での社会貢献活動に努めます。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努め、環境関連規制や当社が約束したことを遵守します。

制定:2010年07月26日

改定:2015年06月01日

北陽建設株式会社

代表取締役 原 滋俊

環境目標《中長期目標》・環境活動計画

環境目標《中期目標》・環境活動計画
活動期間：2019/06～2022/05

項目	環境目標	環境活動
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	室内不在時、昼休時に消灯 励行
		パソコン・電気機器の未使用時には電源OFF
		冷暖房の適正温度厳守（室温目安：夏28℃、冬20℃）
		外気の適正取込み
		照明器具の定期的な清掃、交換を行う
	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップ
		エコ運転及び相乗りの実施
		法定速度厳守
	軽油使用量の削減	重機、機材への過剰な負荷の防止と定期自主検査を実施
		燃費の優れた建設機械の選択 適切かつ効率的な運転に努める
灯油使用量の削減	暖房の適正温度厳守（室温20℃）	
	適度な使用、消し忘れを防ぐ サーキュレーター等の空調設備を利用する	
LPG使用量の削減	給湯器の適温利用	
	夏季給湯利用の節約	
資源の使用量削減	水道水の使用削減	水道栓の開閉をこまめに実施 蛇口はきちんと締めて漏水の防止
		コピー用紙の削減
	使用済み用紙の裏面再使用の徹底 両面印刷、複数ページ集約印刷の徹底、デジタル化 文書の電子化、印刷ミス・余剰の防止	
廃棄物の3Rの促進	一般廃棄物の削減	分別の徹底 帳票見直しによる印刷物の削減、デジタル化 梱包材の再利用
		産業廃棄物の削減
	素材別ボックスの設置 リサイクル業者の開拓と利用 作業ミスによる廃棄量の削減 遊休資材の活用	
	環境配慮資材の購入	事務用品のグリーン購入 コスト面を考慮しながら、環境対応マークのついた 文房具の購入を推進する

3カ年の環境目標

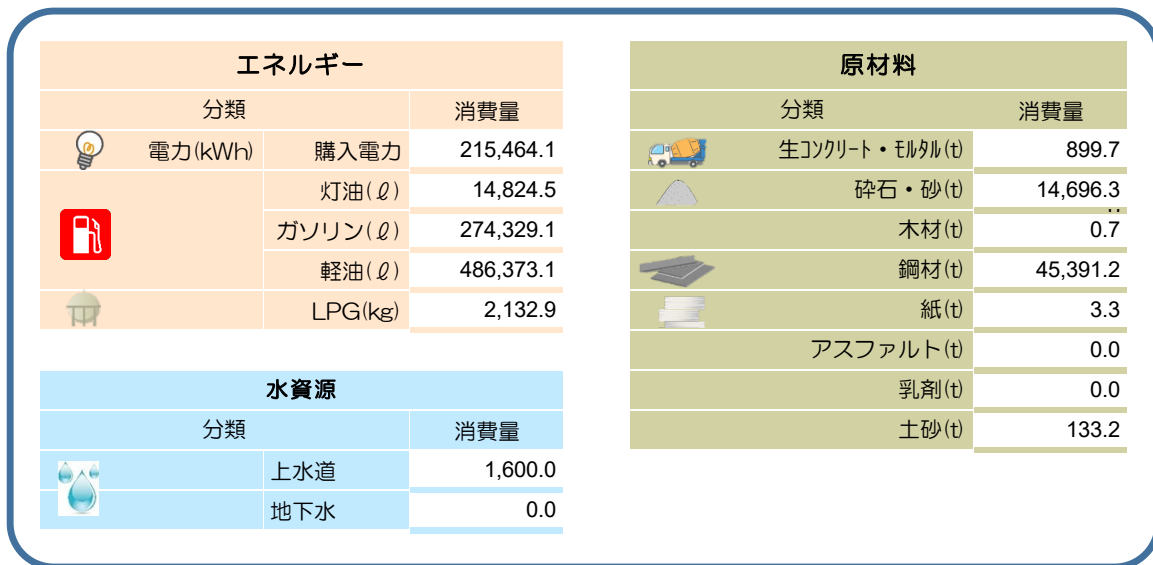
環境目標項目	単位	2018年度 実績 (2018/6～2019/5)	2019年度 目標 (1%削減)	2020年度 目標 (2%削減)	2021年度 目標 (3%削減)
1.CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	1,741.7	1,724.3	1,706.9	1,689.4
2.電力	kwh/年	217,528.0	215,352.7	213,177.4	211,002.1
3.ガソリン	ℓ/年	235,827.0	233,468.7	231,110.5	228,752.1
4.軽油	ℓ/年	387,407.0	383,532.9	379,658.9	375,784.7
4.LPG	m ³ /年	879.0	870.2	861.4	852.6
5.灯油	ℓ/年	27,324.0	27,050.7	26,777.5	26,504.2
6.一般廃棄物	t/年	1.1	1.09	1.08	1.07
7.産業廃棄物	t/年	1,927.0	1,907.7	1,888.5	1,869.1
8.水道水	m ³ /年	2,048.0	2,027.5	2,007.0	1,986.5
9.コピー用紙	t/年	2.63	2.60	2.58	2.55

※1 2018年度の実績を基準年とし、2019年度は1%削減、2020年度までに2%の削減、2021年度までに3%の削減を目標とする。

環境目標に対する実績

2021年度（2021/06～2022/05）

事業活動マテリアルバランス



HOKUYO 北陽建設 事業活動



環境活動計画の取組結果とその評価

年度削減目標と実績値の比較

環境目標項目	単位	2021年度削減目標	2021年度実績値	目標比	評価
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年	1,926,549	2,036,034	5.7%	×
電力	kwh/年	186,932	215,464	15.3%	×
	kg-CO ₂ /年	70,847	81,661		
ガソリン	L/年	277,767	274,329	-1.2%	○
	kg-CO ₂ /年	644,975	636,993		
軽油	L/年	437,698	486,373	11.2%	×
	kg-CO ₂ /年	1,146,331	1,274,298		
LPG	kg/年	2,377.2	2,061	-13.3%	○
	kg-CO ₂ /年	7,132	6,183		
灯油	ℓ/年	23,007	14,825	-35.6%	○
	kg-CO ₂ /年	57,264	36,899		

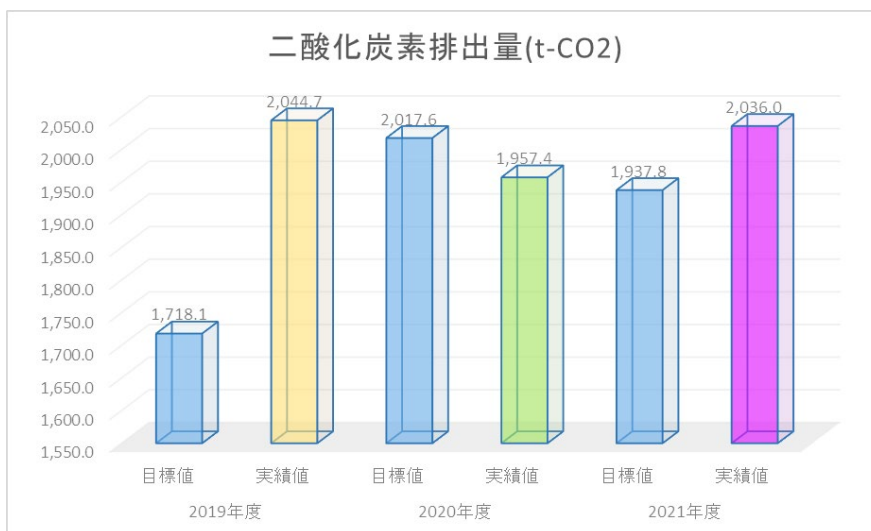
※目標比は各項目CO₂排出量と比較

一般廃棄物	kg/年	726	1,154	58.9%	×
産業廃棄物	t/年	164	705	328.9%	×
水道水	m ³ /年	1,235	1,600	29.6%	×
コピー用紙	kg/年	3,447	3,272	-5.1%	○

※実績値については小数点切上げ

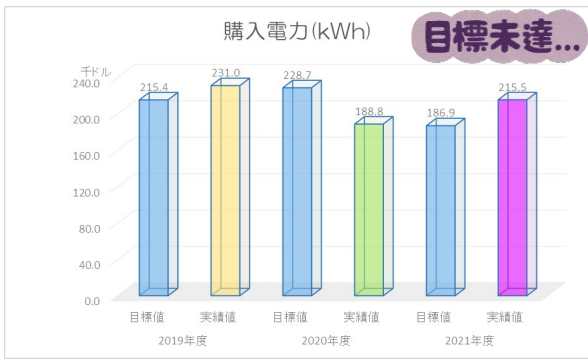
(評価：達成 ○ 、 未達成 ×)

※削減目標は2020年度の-1%

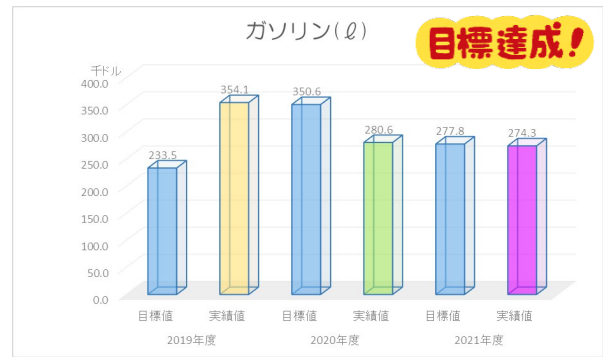


2021年度の二酸化炭素排出量は2,036 t-CO₂
目標数値に対して **6%の増加**

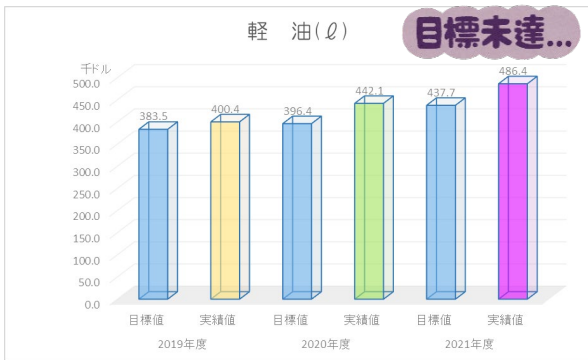
目標未達...



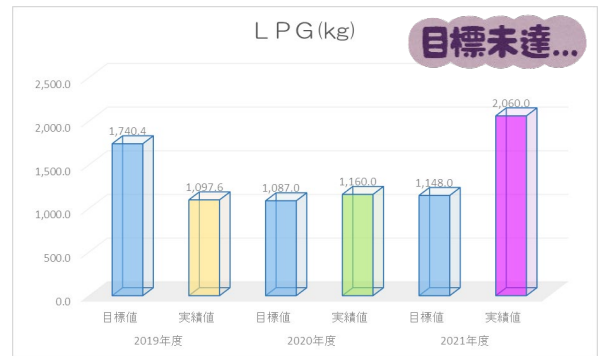
2021年度の購入電力量は 215,464kWh
削減目標に対して **15.3%の増加**



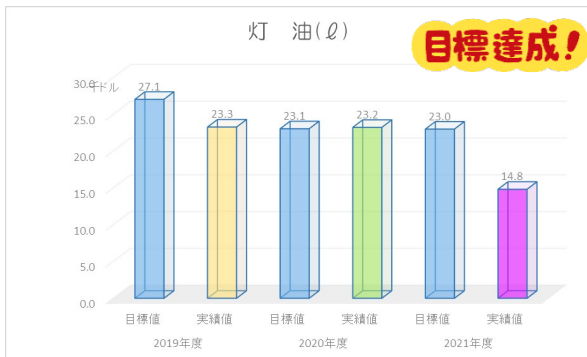
2021年度のガソリン使用量は 274,329ℓ
削減目標に対して **1.2%の減少**



2021年度の軽油使用量は 486,373ℓ
削減目標に対して **11.2%の増加**



2021年度のLPG使用量は 2,060kg
削減目標に対して **79.5%の増加**



2021年度の灯油使用量は 14,825ℓ
削減目標に対して **35.6%の減少**

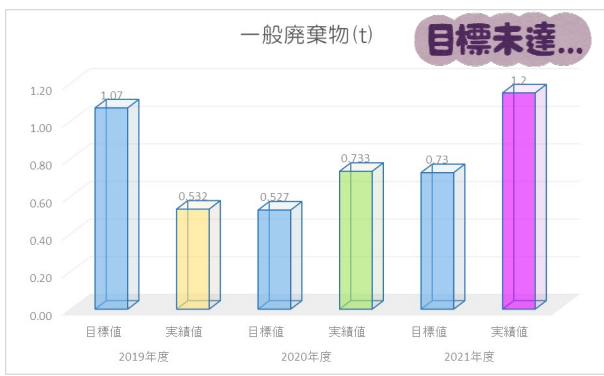
【目標達成の主な要因】

- エコドライブによる低燃費運転
- Web会議等による人員移動の抑制

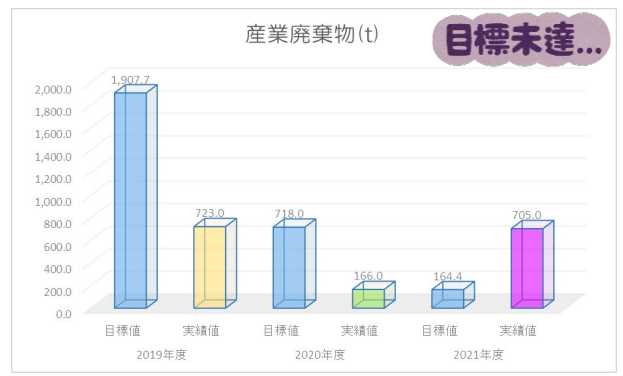
【目標未達成の主な要因】

- 公共工事、災害復旧の増
- 気候変動による冷暖房の利用増 等

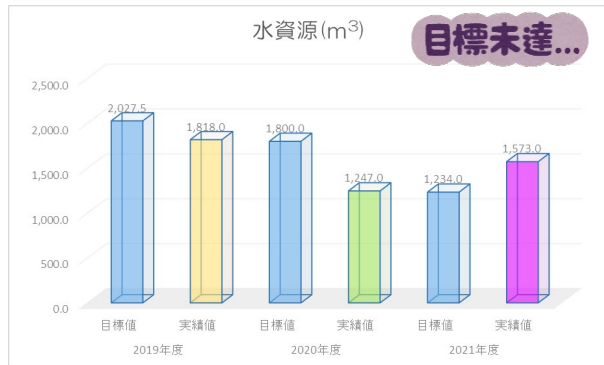
二酸化炭素の総排出量は目標値に対し若干増となった。
要因としては気候変動による災害対応等により、業務が増加したことが考えられる。
「電力」感染症対策のため、事務所内の定期的な換気により、室温変化によりエアコンの稼働率が増加したことで目標未達となった。
「軽油」建設現場の増加に伴い、重機等大型車両の稼働が増えたことで目標未達となった。
「灯油」は石油ストーブとエアコンを併用するようにしたため大幅の削減となった。



2021年度の一般廃棄物量は 1.2t
削減目標に対して **58.9%の増加**



2021年度の産業廃棄物量は 705t
削減目標に対して **328.9%の増加**



2021年度の水道水使用量は 1,573m³
削減目標に対して **29.6%の増加**



2021年度のコピー用紙使用量は 3.27 t
削減目標に対して **5.1%の減少**

【目標達成の主な要因】

- 環境配慮型工法の施工量の増
- 成果品の電子化 等

【目標未達成の主な要因】

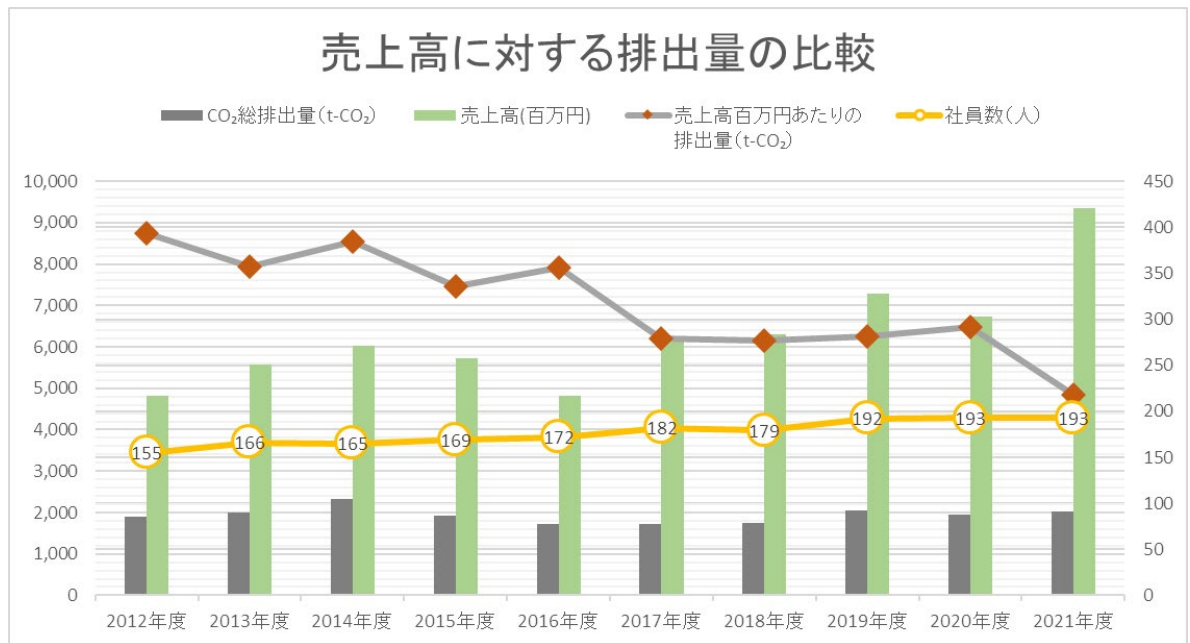
- 事務所移転に伴う保管書類の整理
- 全体業務数の増 等

廃棄物の削減、資源の消費については、
「一般廃棄物」事務所移転や本社内の整理により廃棄物量が増加した。
「産業廃棄物」元請工事現場の増加、特に舗装工事現場より大量のコンクリートガウが発生したことで増加した。
「水資源」日常的に節水を心掛けているが、目標未達となった。次年度は目標達成に向け、漏水確認の徹底等を実施していく。
「紙資源」現場完成時の成果品提出が徐々に紙から電子へ移行しているため削減できた。

売上高に対するCO₂排出量の比較

売上高 百万円当りでのCO₂排出量を過去の実績から比較してみると、エコアクション21導入時と比べて減少しているが、前年度と比較すると売上は減少しているが、CO₂排出量は微増となっている。

項目 \ 事業年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
CO ₂ 総排出量 (t-CO ₂)	1,896	1,992	2,318	1,923	1,721
売上高(百万円)	4,814	5,576	6,026	5,727	4,825
売上高百万円あたりの排出量 (t-CO ₂)	394	357	385	336	357
社員数 (人)	155	166	165	169	172
項目 \ 事業年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO ₂ 総排出量 (t-CO ₂)	1,716	1,741	2,044	1,957	2,036
売上高(百万円)	6,152	6,291	7,275	6,723	9,361
売上高百万円あたりの排出量 (t-CO ₂)	279	277	281	291	217
社員数 (人)	182	179	192	193	193



次年度の取組内容

次年度(2022年度)の取組内容

次年度(2022年度)の取組内容				
環境目標項目	基準年 3年平均 2019年度～2021年度	目標値	達成手段	
電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力の削減 基準年から1%削減	電力使用量 211,761 kWh CO ₂ 排出量 80,257 kg-CO ₂ /kWh	電力使用量 209,643 kWh CO ₂ 排出量 79,455 kg-CO ₂ /kWh	<ul style="list-style-type: none"> 室内不在時、昼休時に消灯励行 パソコン・電気機器の未使用時には電源OFF 冷暖房の適正温度厳守(室温 冷房28℃、暖房20℃) 外気の適正取込み 照明器具の定期的な清掃、交換を行う
	ガソリンの削減 基準年から1%削減	ガソリン使用量 303,013 L CO ₂ 排出量 702,990 kg-CO ₂ /L	ガソリン使用量 299,983 L CO ₂ 排出量 695,961 kg-CO ₂ /L	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップ エコ運転及び不用な荷物をおろす、相乗りの実施 法定速度厳守
	軽油の削減 基準年から1%削減	軽油使用量 442,952 L CO ₂ 排出量 1,160,534 kg-CO ₂ /L	軽油使用量 438,522 L CO ₂ 排出量 1,148,928 kg-CO ₂ /L	<ul style="list-style-type: none"> 重機、機材への過剰な負荷の防止と定期自主点検を実施 燃費の優れた建設機械の選択、 適切かつ効率的な運転に努める
	LPGの削減 基準年から1%削減	LPG使用量 1,438 m ³ CO ₂ 排出量 4,314 kg-CO ₂ /m ³	LPG使用量 1,424 m ³ CO ₂ 排出量 4,272 kg-CO ₂ /m ³	<ul style="list-style-type: none"> 給湯器の適温利用 夏季給湯利用の節約 暖房の適正温度厳守(室温 暖房20℃)
	灯油の削減 基準年から1%削減	灯油使用量 20,450 L CO ₂ 排出量 50,921 kg-CO ₂ /L	灯油使用量 20,246 L CO ₂ 排出量 50,413 kg-CO ₂ /L	<ul style="list-style-type: none"> 暖房の適正温度厳守(室温 20℃) 過度な使用、消し忘れを防ぐ サーキュレーター等の空調設備を利用する
廃棄物の3Rの促進	一般廃棄物の削減 基準年から1%削減	廃棄物量 822 kg	廃棄物量 814 kg	<ul style="list-style-type: none"> 分別の徹底 帳票見直しによる印刷物の削減 梱包材の再利用
	産業廃棄物の削減 基準年から1%削減	廃棄物量 531 t	廃棄物量 526 t	<ul style="list-style-type: none"> 素材別ボックスの設置 リサイクル業者の開拓と利用 作業ミスによる廃棄量の削減 遊休資材の活用
水道水の削減	水道水の削減 基準年から1%削減	水使用量 1,546 m ³	水使用量 1,531 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 水道栓の開閉をこまめに実施 蛇口はきちんと締めて漏水の防止
コピー用紙の削減	コピー用紙の削減 基準年から1%削減	用紙使用量 3407 kg	用紙使用量 3,373 kg	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み用紙の裏面再使用の徹底 両面印刷、複数ページ集約印刷の徹底 文書の電子化、印刷ミス・余剰の防止
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	—	—	<ul style="list-style-type: none"> コスト面を考慮しながら、環境対応マークの付いた文房具の購入を推進する
環境活動全	環境に配慮した設計提案、施工の実践	—	各部門 3件以上	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型の設計・施工、社会貢献活動など

※1 目標値は2019年度～2021年度の平均値を基準とし、1%の削減を目標値としている。

環境活動の紹介

農具川河川愛護活動及び道路美化活動

毎年、本社近くを流れる【農具川】に生息する特定外来生物《アレチウリ》の駆除及び河川内のゴミ拾い、草刈りを行いました。



令和3年6月、7月、9月実施

「エコキャップ運動」の継続取組

NPO法人 エコキャップ推進協会にて取組まれている「エコキャップ運動」に継続して参加しています。



キャップ収集累計個数： 9,750個
CO₂削減累計： 61.4kg

ベストボトルキャップ受領書

2021年 11月 19日

北陽建設株式会社
担当者： 杉木 様



ベストプラ株式会社
〒384-0093長野県小諸市利田483-33
TEL 0267 - 22 - 2268
FAX 0267 - 22 - 2269
担当： 芝崎

この度は、キャップを回収させていただきましてありがとうございます。
ご提供いただいたエコキャップは、弊社にて再生プラスチック原料としてリサイクルしております。
その資金を開発途上国の子どもたちの未来を守るためにワクチンを贈る活動を行う民間の国際支援団体「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付し、活動を支援致します。

受取日	数量	個数	寄付金額
2021年 11月 18日	5.5 kg	2,750 個	28 円

1kg=5円での計算となります。1kg=500個となります。(キャップの軽量化に伴い430個が5500円に相当)

- *今回のキャップをゴミとして焼却した場合のCO₂発生量 ⇒ 17.3 kg
(キャップ1kgで3.19kgのCO₂削減につながります)
- *今回の数量をポリオワクチンに換算 ⇒ 1 人分
(ポリオワクチン1人分=キャップ4kg分=20円)
ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切にし、寄付することを約束致します。

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (Japan Committee Vaccines for the World's Children)
2020年 支援総額：1億1,115万3,392円

- *ミャンマー 3,570万3,926円
◎国際赤十字会支援
*ワールドユニオンなど：ワークイン保済済2基、ワークイン冷凍庫1基、ワークイン紙片カード/ワクチン管理ツール印刷機2基
- *ブラオス 2,469万3,146円
◎国際赤十字会支援
*ワクチン：M/R(はしか)接種：240,000人分
*ワールドユニオンなど：注射器、使用済み注射器回収箱、プログラム管理費用
- *ブータン 2,327万2,448円
◎国際赤十字会支援
*ワクチン：B型肝炎70,000人分、BCG 90,000人分、平痘(ジフテリア/百日咳/破傷風/白喉/麻疹/髄膜炎/細菌性髄膜炎(Hib))による細菌性髄膜炎：29,000人分、M/R(はしか/風疹)：30,000人分、TD(破傷風/ジフテリア)：50,000人分
*ワールドユニオンなど：ソーラー検温器7台、併設器、使用済み注射器回収箱、研修者への研修予約費用、ヘルスワーカー研修費用
- *バヌアツ 2,748万3,872円
◎国際赤十字会支援
*ワクチン：B型肝炎70,000人分、BCG 90,000人分、平痘(ジフテリア/百日咳/破傷風/白喉/麻疹/髄膜炎/細菌性髄膜炎(Hib))による細菌性髄膜炎：29,000人分、M/R(はしか/風疹)：30,000人分、TD(破傷風/ジフテリア)：50,000人分
*ワールドユニオンなど：ソーラー検温器7台、併設器、使用済み注射器回収箱、研修者への研修予約費用、ヘルスワーカー研修費用

【ワクチンの代金】
*ポリオワクチン20円 *M/R(はしか、おたふく病、はしか)約114円
*B型肝炎接種料1円 *はしか約90円 *DPT(ジフテリア、百日咳、破傷風)約9円
*五価ワクチン(DPT+B型肝炎+MR)約175円

河川パトロールの実施

河川愛護月間にあわせ、付近の河川環境の保全・再生への取組としてパトロール及び河川美化活動の実施（令和3年7月）



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規の遵守状況

当社の企業活動に伴い、適用される環境関連法規等は下記の通りです。環境管理責任者と事務局が中心となり、法規制の遵守状況について調査を行い、環境管理責任者が遵守の評価を行います。

2022/05/31

法律・規制等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応	届出先	担当部門	評価時期	証拠となる記録等	遵守状況	
							環境 責任 者 理	事 務 局
							評価	確認
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	(産業廃棄物の保管) ・掲示板設置 (60cm×60cm以上で種類、管理者名、連絡先、積上げ高さを表示) ・保管施設の飛散、流出及び地下浸透しない措置 ・ネズミ、蚊、ハエ等の他害虫発生防止 ・他の廃棄物が混入しないような措置 ・種類別の措置	・基準に適合した措置	—	機材センター	日常点検	現物監視	適	適
	(産業廃棄物の委託) ・知事の許可を受けた収集運搬業者、処理業者と契約 ・委託契約は書面で ・委託処理内容など必要事項記載 ・収集運搬業又は処理業の許可証の確認	・委託基準の遵守	—	排出部門	毎年5月	委託契約書 許可証写し	適	適
	(産業廃棄物管理票) ・全ての産業廃棄物に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付	・排出部門が記載	—	排出部門	毎年5月	産業廃棄物管理票 (マニフェスト)	適	適
	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)B2票、D票、E票を5年保存	・A票と併せてFファイルに保管	—	排出部門	毎年5月			
	・90日以内にB2、D票、180日以内にE票の送付がない場合は、業者へ照会し、状況を30日以内に行政へ報告	・毎月1回チェック	知事	排出部門	1回/月	産業廃棄物管理票未回収報告書	適	適
	(産業廃棄物管理票交付等状況報告) ・前年度の交付状況を報告 ・中間処理業者の交付する2次マニフェストも報告 ・県内で排出したものに限り	毎年4月1日～6月30日の間に提出	知事	安全室	毎年7月	交付等状況報告書	適	適
	・一般廃棄物の分別収集と指定ゴミ袋で運搬	ゴミ出しルール遵守	—	総務部	日常点検	現物監視	適	適
資源有効利用促進法 (改正リサイクル法) (資源の有効な利用の促進に関する法律)	(建設工事の届出) ・体積が1000m ³ 以上である土砂 ・重量が500tである砕石 ・重量が200t以上である加熱727℃以上混合物	対象工事受注時、竣工時に書面作成し、発注者に説明	発注者	工事部門	1回/年	・再生資源利用計画/実施書 ・再生資源利用促進計画/実施書 ・CREDAS入力FD	適	適
建設リサイクル法 (建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	(建設工事の届出) ・解体工事：床面積の合計が80㎡以上 ・新築又は増築の工事：床面積の合計が500㎡以上 ・新築、増築、解体以外の工事：請負代金が1億円以上	対象工事受注時、竣工時に書面作成し、発注者に説明	発注者	工事部門	1回/年	説明書・告知書・再資源化報告書	適	適
騒音規制法	(特定建設作業の届出) ・指定地域内で特定建設作業を行う場合は、7日前までに市町村長へ届出 ・くい打機、くい打くい抜機を使用する作業 ・びょう打機を使用する作業 ・削岩機を使用する作業 ・空気圧縮機(原動機の定格出力15kw以上)を使用する作業 ・コンクリートプラント(混練容量0.45m ³ 以上)、727℃以上(混練重量200kg以上)を設けて行う作業 ・バックホウ(原動機の定格出力80kw以上)を使用する作業	規制遵守	市長村長	工事部門	1回/年	届出控	適	適
振動規制法	(特定建設作業の届出) ・指定地域内で特定建設作業を行う場合は、7日前までに市町村長へ届出 ・くい打機、くい打くい抜機を使用する作業 ・鋼球を使用して建築物その土地の工作物を破壊する作業 ・舗装版砕機を使用する作業 ・ブレーカーを使用する作業	規制遵守	市長村長	工事部門	1回/年	届出控	適	適
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	(対象事業が公共工事の場合) ・小型バックホウ、バックホウ、トラクタショベル、ブルドーザー、発動機電機、空気圧縮機、油圧パワーユニット、ロードローラー、タイヤローラー等	対策型ステッカー貼付の建設機械使用	発注者	工事部門	公共工事の都度	ステッカー確認	適	適

法律・規制等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応	届出先	担当部門	評価時期	証拠となる記録等	遵守状況	
							環境 責任管 理者	事務 局
							評価	確認
水質汚濁防止法	(事故時の措置) ・特定事業場の設置者は、有害物質又は油を含む水が公共用水域に排出され、又は地下浸透し、人の健康又は生活環境に被害が生じる恐れのあるときは、直ちに応急措置を講じ、知事に届出	規制遵守	知事	機材センター	事故発生の都度	届出控	該当なし	該当なし
	・特定事業場以外で貯油施設等を設置するものは、事故が発生し、油を含む水が公共用水域に排出され、生活環境に被害が生じる恐れのあるときは、直ちに応急措置を講じ、知事に届出	規制遵守	知事	工事部門	事故発生の都度	届出控	該当なし	該当なし
消防法	(第4類危険物の指定数量) 第二石油類(非水溶性): 1000ℓ—灯油、軽油等 (水溶性): 2000ℓ 第四石油類: 6000ℓ—ギア油等	規制遵守	消防署	機材センター	1回/年	少量危険物の貯蔵取扱管理記録	適	適
	消火器の点検	10年毎の交換	—	各部門	対象の都度	現物監視	適	適
河川法	一日50m ³ 以上の汚水を河川に排水する場合	規制遵守	河川管理者	工事部門	対象の都度	届出控	該当なし	該当なし
道路法	公共道路を使用する場合	規制遵守	道路管理者	工事部門	道路使用(占有時)	届出控	適	適
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器が使用されている場合	規制遵守	—	総務部	1回/年	機器点検表	適	適

環境関連訴訟等の有無

関係機関及び近隣住民からの環境関連訴訟等に関して現在及び過去1年間、1件も発生しておりません。

代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体評価

2011年にエコアクション21の認証取得をしてから、今年度で10年目となりました。長年にわたり環境経営に取り組んだ功績を評価していただき、持続性推進機構エコアクション21中央事務局より感謝状をいただきました。これを励みに一層積極的な活動を心掛けていきたいと思えます。

CO²排出量は前年比マイナス1%を目標と掲げていましたが、今期は微増となってしまいました。前年と比べ工事量の大幅増加が要因と考えられますが、売上高百万円当たりのCO²排出量を見ると確実に減少傾向となっています。達成できた項目、出来なかった項目様々でしたが、一定の成果を出すことができました。

毎日の地道な取り組みや、小さな改善の集大成が大きな成果となると思えます。北陽建設として50期と節目の年となります。100年企業を目指し実現するためにも、PDCAを回す仕組みづくりを定着、発展させながら、エコアクション21への活動をレベルアップし、引き続き積極的な取り組みを行っていききたいと思えます。

見直し

『環境方針』

変更の必要性：無

引き続き、環境方針に定められた取組みを継続して取組む。

『環境目標・活動計画』

変更の必要性：無

下記の項目について来期以降も、積極的に取組む

- ・エコ運転、アイドリングストップの徹底
- ・現場への効率的な移動（相乗り、不用な荷物を積まない等）
- ・日常車両点検及び燃費管理の徹底（オイル交換、空気圧等）
- ・燃費効率の良い建設機械の選択、環境負荷を低減する効率的な運転
- ・現場廃棄物を削減できる工法、材料の選択
- ・環境に配慮した設計提案、施工の実践
- ・テレワーク、WEB会議等ICT技術を活用

『その他』

変更の必要性：無

